

**製品名: カゼインキナーゼ I $\alpha$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07942**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CSNK1A1
別名	CSNK1A1; Casein kinase I isoform alpha; CKI-alpha; CK1
遺伝子 ID	1452.0
SwissProt ID	P48729
免疫原	抗血清はヒト CKI- $\alpha$ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 126-175

**背景**

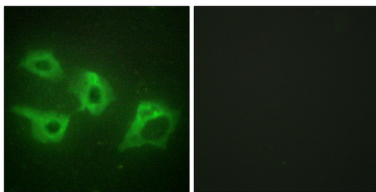
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質として優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wnt シグナル伝達に関与しま

す。CTNNB1 の Ser-45 をリン酸化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: モノマー。Axin 複合体と相互作用します。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質として優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wnt シグナル伝達に関与します。CTNNB1 の「Ser-45」をリン酸化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: モノマー。Axin 複合体と相互作用します。、

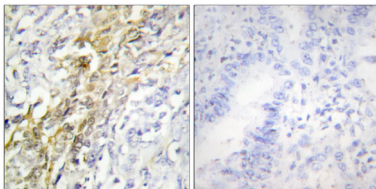
## 研究分野

WNT;WNT-T 細胞ヘッジホッグ;

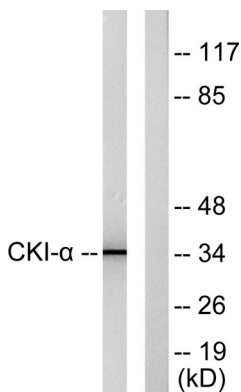
## 画像データ



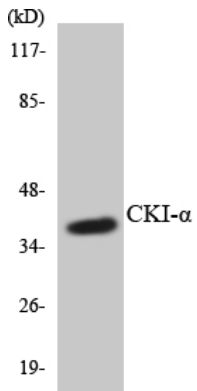
CKI-α抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



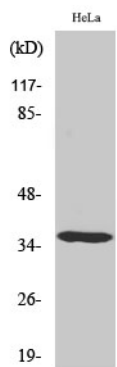
CKI-α抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CKI-α抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CKI-α抗体を用いたHT-29細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



カゼインキナーゼIαポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析